

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 24 年 11 月 8 日 (2012.11.8)

【公開番号】特開 2011-177698 (P2011-177698A)

【公開日】平成 23 年 9 月 15 日 (2011.9.15)

【年通号数】公開・登録公報 2011-037

【出願番号】特願 2010-47491 (P2010-47491)

【国際特許分類】

B 0 1 J 20/24 (2006.01)

A 2 4 D 3/10 (2006.01)

A 2 4 D 3/14 (2006.01)

【F I】

B 0 1 J 20/24 A

A 2 4 D 3/10

A 2 4 D 3/14

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 9 月 19 日 (2012.9.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 8】

製造例 2

(キトサンの乳酸塩水溶液の調製)

キトサン(大日精化工業社製:商品名ダイキトサン V L 脱アセチル化度 83%、粘度 $7 \text{ mPa} \cdot \text{s}$) 10 g を精製水 80 g に添加、攪拌して分散させた。そこへ 50 質量%乳酸水溶液(武蔵野化学研究所社製) 10 g を滴下し、攪拌することでキトサンを溶解させ、キトサン乳酸塩(15%)水溶液 100 g を得た。

上記にて調製した水溶液に基づき、実施例 1 ~ 13 及び比較例 1 ~ 4 にて使用するキトサン乳酸塩各濃度の水溶液を調整した。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 9 5】

実施例 14

更に、高脱アセチル化度のキトサンを使用し、実施例 3 の方法同様に試験を行った。キトサン(大日精化工業社製:商品名ダイキトサン 100 D, 脱アセチル化度 98%、粘度 $50 \text{ mPa} \cdot \text{s}$) 2 g を精製水 96 g に添加、攪拌して分散させた。そこへ 50 質量%乳酸水溶液(武蔵野化学研究所社製) 2 g を滴下し、攪拌することでキトサンを溶解させ、キトサン乳酸塩(3%)水溶液 100 g を得た。得られたキトサン水溶液に基づき、実施例 3 同様にホルムアルデヒド保持率の試験を実施した結果、60%であった。